

令和7年度士別市内高校生の就職・Uターン意識調査

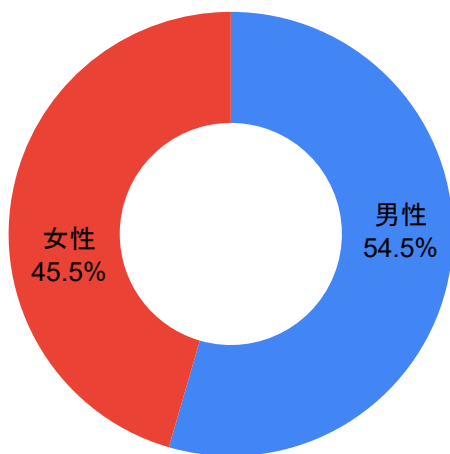
士別商工会議所

1. 実施目的 士別市では多くの企業で人手不足が深刻化し、合わせて若者の市外流出が大きな課題となっており、市内就職の促進に向けた事業の在り方や支援の方向性の検討を行うことを目的に実施致しました。
2. 調査期間 令和7年9月1日（月）～9月16日（火）
3. 調査対象 市内高校（2校）1年生～3年生 310名
4. 回答数 167名（回答率53.8%）
5. 調査方法 オンライン回答（Googleフォーム）※回答所要時間5分程度
 ※回答特典 サフォークポイント 100P
6. 調査内容
 - ①回答者属性
 - ②将来の就職に関する意向
 - ③就職先希望地域
 - ④地元就職を希望する生徒の意向
 - ⑤地元外就職を希望する生徒の意向
 - ⑥就職先希望地域が未定生徒の意向
 - ⑦進学希望生徒のUターンの意向
 - ⑧Uターンの為に生徒が求める支援策

1. 回答者属性

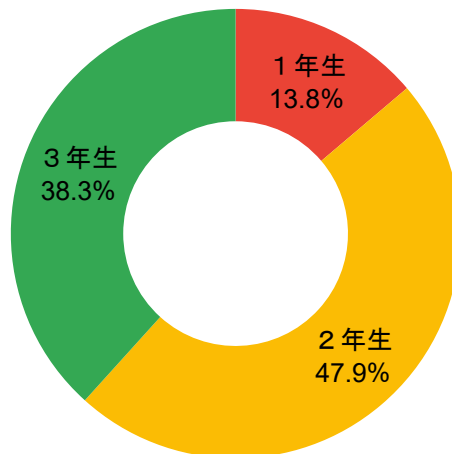
(1) 性別

男	91	54.5%
女	76	45.5%



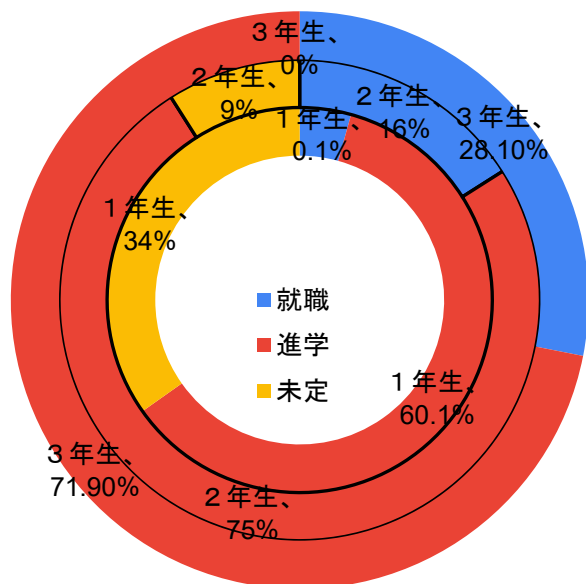
(2) 学年

1 年	23	13.8%
2 年	80	47.9%
3 年	64	38.3%



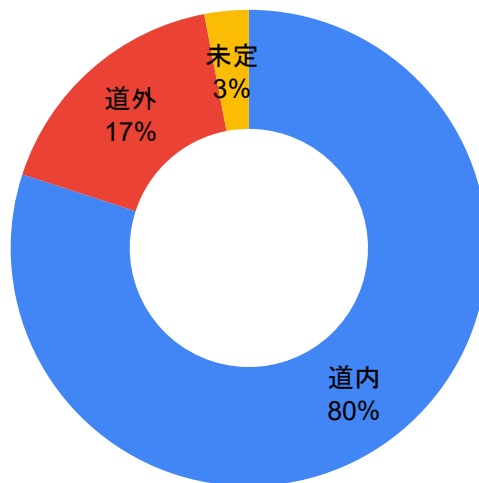
(3) 卒業後の進路

	就職	進学	未定
1 年生	4.3%	60.9%	34.8%
2 年生	16%	75%	9%
3 年生	28.10%	71.90%	0%



(4) 進学希望者の進学希望先

道内	80%
道外	17%
未定	3%



※男女比はほぼ均等（男性54.5%・女性45.5%）

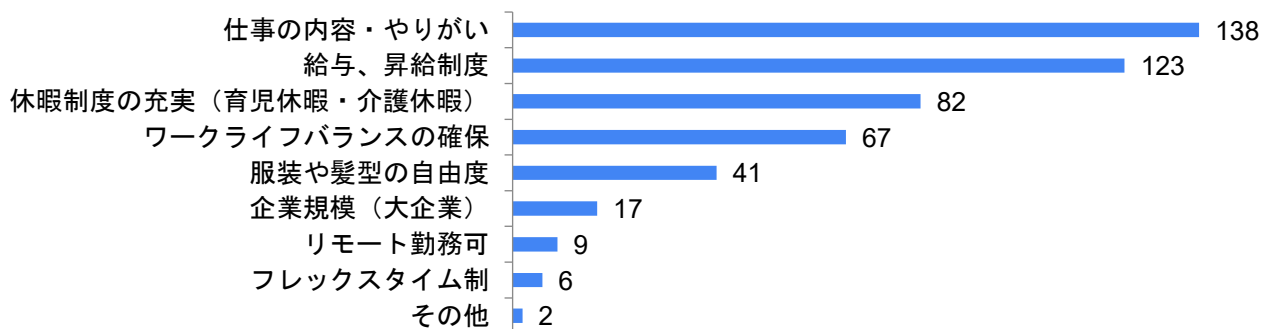
※学年比率は2年生が最も多く47.9%、次年度に向け関心度が高かったとみられる。

※卒業後の進路は、就職が約2割、進学が7割、未定が1割となっており、未定の割合は1年生、2年生の順に多かった。

※進学希望者の進学希望先については、80%が道内を希望しているという結果であった。

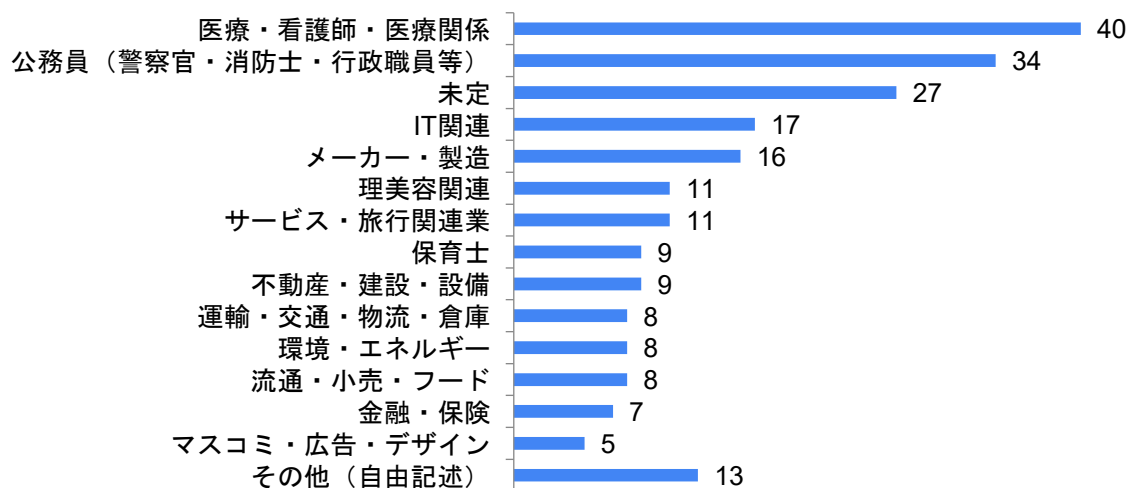
2. 将来の就職に関する意向

(1) 重視する職場環境（複数回答可）

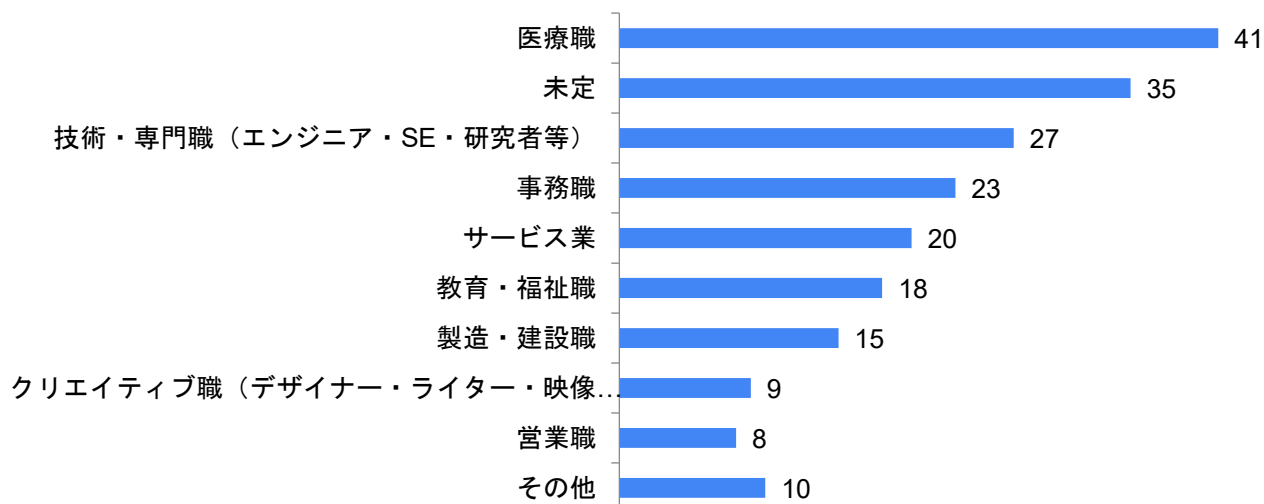


働きやすさ・待遇改善への期待が強い。

(2) 将来働きたい業種（複数回答可）

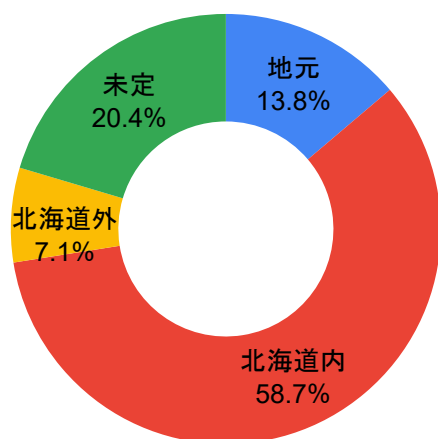


(3) 将来働きたい職種（複数回答可）

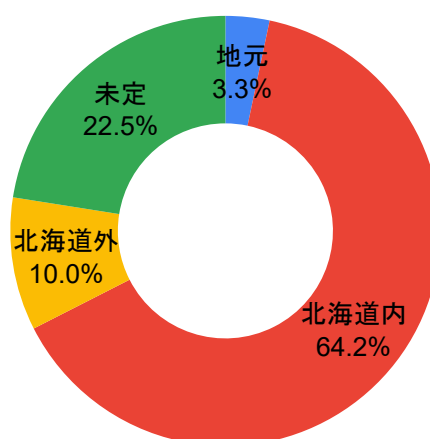


3. 就職先希望地域

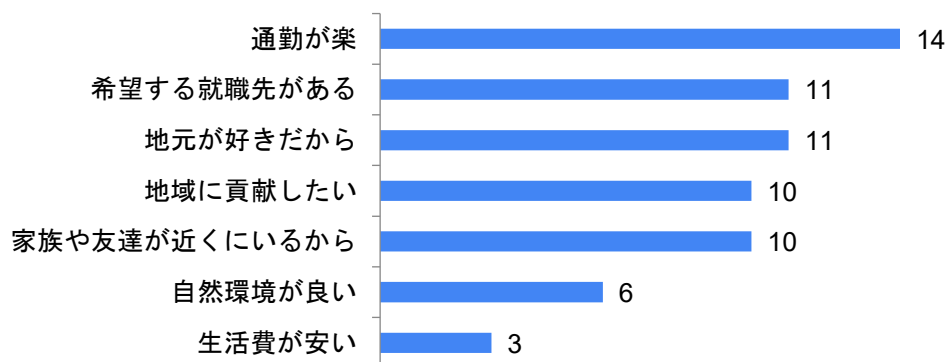
進学・就職希望者（全体）



進学希望者のみ

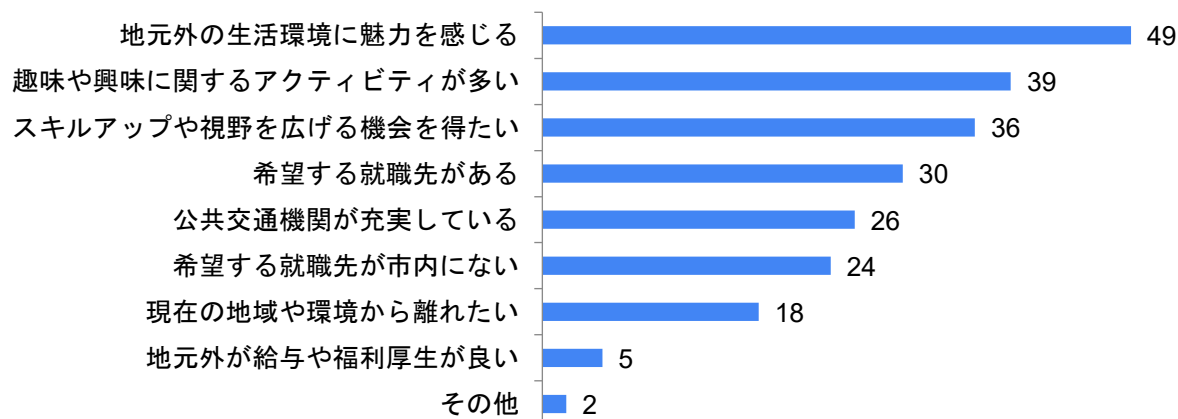


4. 地元就職を希望する生徒の意向（複数回答可）



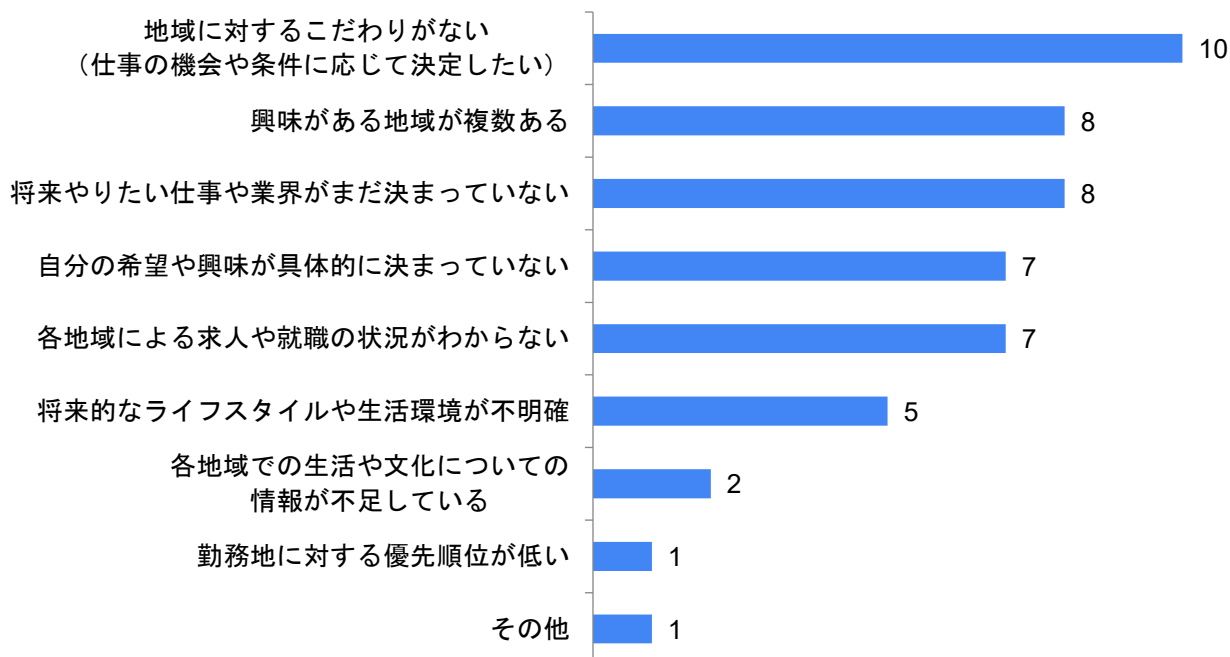
生活利便性と地元愛がモチベーション。

5. 地元外就職を希望する生徒の意向（複数回答可）



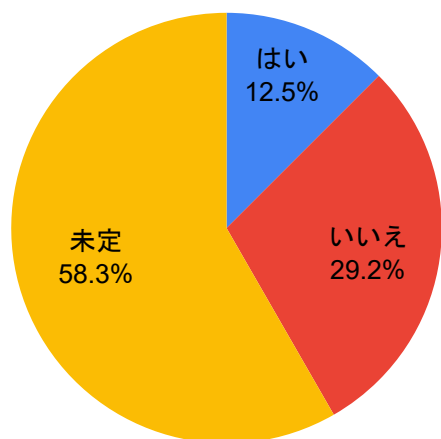
都市部の利便性や職業選択肢の広さに惹かれている。

6. 就職先希望地域が未定生徒の意向（複数回答可）

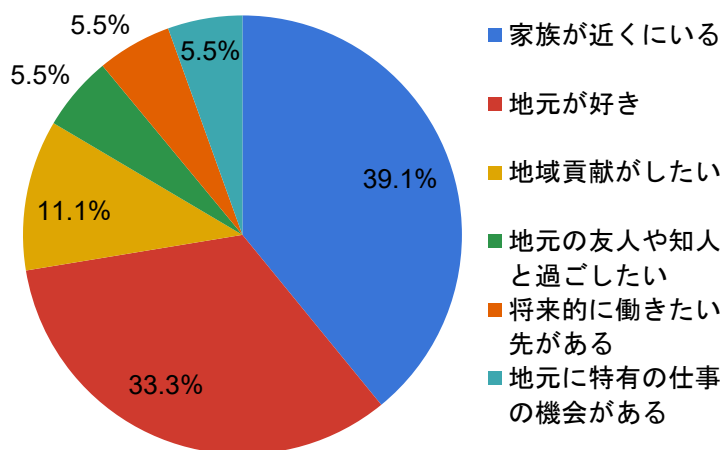


7. 進学希望生徒のUターンの意向

（１）将来的に地元に戻る（Uターン）
意向がありますか

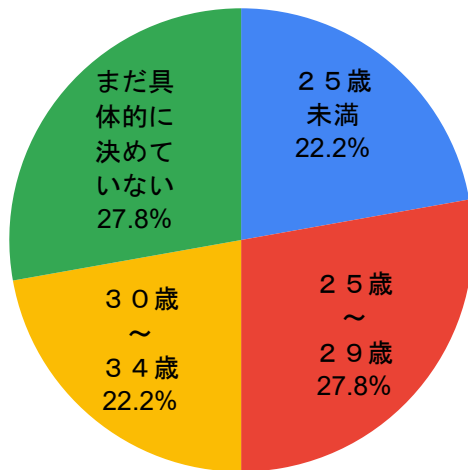


（２）（１）で「はい」と答えた理由

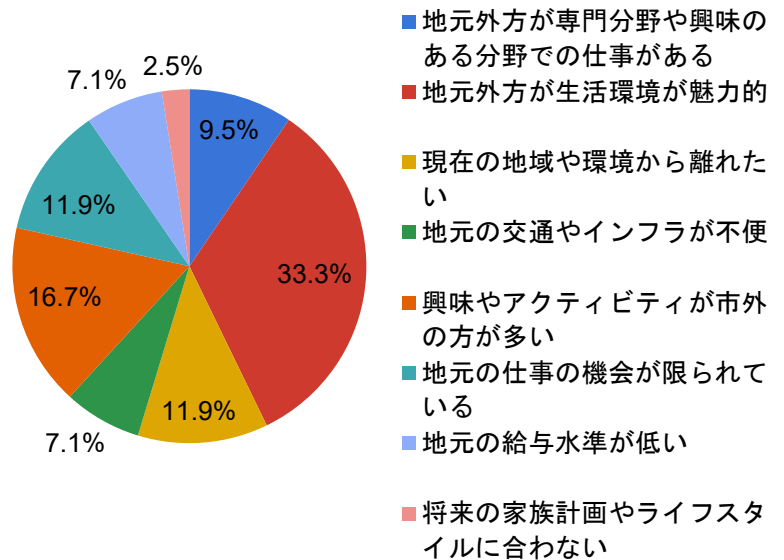


半数以上が「未定」＝支援策次第で動く可能性あり。

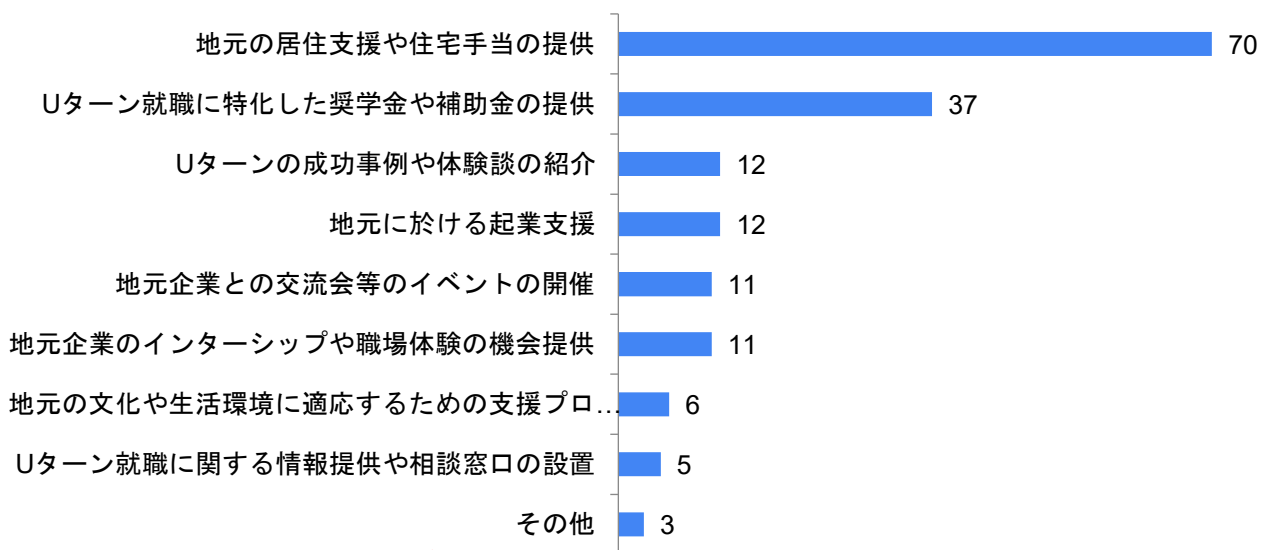
(3) (1)で「はい」と答えた方
何歳くらいで地元に戻りたいですか



(4) (1)で「いいえ」と答えた理由



8. Uターンの為に生徒が求める支援策



住宅支援と奨学金が最大ニーズ。

【検討すべき支援策】

1. 住宅支援(即効性・希望者多数 → 最優先)

・Uターンや若者向け家賃補助制度の創設など

※土別市移住支援金の活用促進(北海道マッチングサイトへの企業登録促進とPR)

2. 奨学金返済支援(土別市奨学金返還支援補助金PR)

3. 進学者フォロー(Uターン相談窓口の設置)

4. 情報発信(企業情報・助成金情報・Uターン事例・生活環境PRなど)

※学校を通じ生徒へ直接情報を発信する(当所会報誌など)

※都市部より不便という不安を解消するため、地域で出来る趣味・くらし情報をまとめる

5. 起業支援(長期的効果)

※土別市では新規開業支援事業など、充実した助成金が多くあり、最大540万円の助成が受けられる。PR強化